

8-1-9 広報専門委員会

1. 広報専門委員会の概要

広報専門委員会は、広報戦略委員会の下部組織として、広報戦略委員会で検討した年間活動方針等に基づく機能的実行部隊として活動している。

戦略的な広報活動の実践のため、専門委員会内に以下のWGを設け、具体的な活動を進めた。

(1) 建設関連業イメージアップ促進協議会

国土交通省建設市場整備課の呼びかけに基づき、全測連・全地連と連携して協議会を組織し、事務局を担当する。活動内容は、主として大学・高専等への説明会の開催。

(2) 学生講座WG

建設コンサルタントに対する学生への理解を深める広報活動を検討、実施する。建設コンサルタントとは何かを伝える中で、職業としての夢を持ってもらえるような活動を企画。

(3) 一般・社会人広報WG

社会人を対象とする広報活動を検討、実施する。一般・社会人向けの具体的な広報ツールを制作。

(4) 協会イメージアップ企画WG

小学生・中学生を対象とする広報活動を検討、実施する。『暮らしの中の土木』として、コンサルタント、協会のイメージアップ活動を企画。

(5) HP改定WG

協会HPのリニューアルを企画提案する。

2. 主な活動の記録

(1) 専門委員会の開催

隔月で専門委員会を開催することとし、平成28年度は、5、7、9、11、1、3月に開催。

(2) 建設関連業イメージアップ促進協議会

平成24年度から活動を開始。今年度は首都圏の大学を中心に5大学で6回の業界説明会を開催した。対象大学は、中央大学2回、東海大学、立命館大学、東京理科大学、法政大学であり、受講者数は合計503名であった。

(3) WGによる活動

a) 学生向け業界説明会資料の制作

各支部が実施する学生向けの説明会用資料として、建設コンサルタントの仕事の内容や魅力を伝える約10分間の動画を制作した。仕事の社会的な位置づけや具体的な内容を紹介するとともに、4人の先輩社員へのインタビューを盛り込んだ。12月に完成させ各支部に配付した。

b) 建コン協カレンダーの制作

昨年に続き、建コン協カレンダー(2017年版)を制作した。第7回建コンフォト大賞(2015年度実施)の入選作品13点を活用し、A3判二つ折りのカレンダーを20,000部制作。広報誌「Consultant」273号(10月発行)発送時に同梱したほか、支部開催のセミナーや、広報事業専門委員会主催の写真展でも配布した。

c) キャッチコピー・マークの制定

協会に対する社会からの認知度や親しみやすさの向上を目的に、キャッチコピー、マークを制定した。キャッチコピー、マーク案の一般募集を行い、それぞれ653件、163件の応募を得た。協会会長を含む審査委員会を開催して最終作品を決定した。作品は商標登録を申請。

d) 一般向けパンフレットの制作

近畿支部制作の一般向けパンフレットをベースに、全支部で配布可能な一般向けパンフレットを制作。制定したキャッチコピー・マークを活用し、平成29年度初頭に印刷、配布。

e) 親子見学ツアーの開催

「土木のつながり発見ツアー」(毎日新聞社主催、建コン協特別協力)を開催(8月10日)し、芝浦水再生センター、ならびに芝浦・森ヶ崎間連絡管の施工現場を見学した。15家族30名の参加者は抽選で決定した。

f) ホームページの改定

協会ホームページを改定するため、関係する委員会と協議し、改定を進めた。掲載項目が多すぎて煩雑な印象のあったトップページを一新するとともに、各コンテンツへのアクセス性の向上を図った。平成29年5月にアップ。

(広報専門委員会委員長 見附 敬三)